

米国 積極的な販促効果もあり小売は堅調さ維持 (06年11月小売売上高)

発表日：06年12月13日(水)

～小売売上高(除く自動車・ガソリン・建材)も3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率+6.4%と高い伸び～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

	小売・飲食サービス売上高			耐久財関連 (*1)				非耐久財関連 (*2)		
		除く車		自動車	家具	家電		衣料品	ガソリン	
06/01	+3.0	(+9.4)	+2.7	+5.2	+4.1	+6.6	+7.1	+1.7	+2.6	+4.5
06/02	▲0.8	(+7.4)	▲0.2	▲2.4	▲3.1	▲2.6	▲3.5	+0.3	▲1.1	▲1.3
06/03	+0.7	(+8.0)	+0.6	+1.2	+1.3	+0.4	▲0.1	+0.3	+0.5	+0.4
06/04	+0.7	(+7.0)	+0.7	▲0.3	+0.4	+0.6	+0.3	+1.4	+0.5	+5.7
06/05	+0.2	(+7.6)	+0.8	▲1.2	▲2.1	+0.5	+0.8	+1.1	+0.7	+2.0
06/06	▲0.5	(+5.3)	▲0.0	▲1.8	▲2.4	+0.9	▲0.5	+0.2	+0.5	+0.1
06/07	+1.4	(+4.8)	+0.7	+2.7	+4.1	▲0.1	+0.7	+0.7	+1.2	+1.5
06/08	+0.0	(+6.3)	+0.1	▲0.2	▲0.3	+0.8	+0.0	▲0.1	▲0.2	▲1.2
06/09	▲0.6	(+5.5)	▲1.0	+0.2	+0.9	+0.3	+0.5	▲1.4	+2.9	▲9.8
06/10	▲0.1	(+4.9)	▲0.3	+0.6	+1.0	▲0.7	+0.0	▲0.6	▲0.6	▲5.3
06/11	+1.0	(+5.6)	+1.1	+1.3	+0.9	▲0.1	+4.6	+0.9	▲0.0	+2.3

(出所) 商務省 (Department of Commerce)

(注) 数字は季調済前月比。但し、() 内は前年同月比 (未季調)。

*1: 耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上の合計。

*2: 非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。

自動車を除く小売売上高は前月比+1.1%と市場予想を大幅に上回った

06年11月の小売・飲食サービス売上高は、家電、無店舗小売、ガソリン、の増加によって前月比+1.0% (前月同▲0.1%) とプラスに転じた。9、10月合計で0.3%ポイント上方改定された中、市場予想の同+0.2%を大幅に上回った。項目別にみると、耐久財では家具のマイナス幅が縮小し、家電が大幅に増加、自動車は増加基調を維持したことで耐久財全体も加速した。一方、非耐久財では衣料品販売のマイナス幅縮小、ガソリン価格の上昇に伴うガソリンスタンドでの販売増加、建設資材の増加ペース加速、通信販売の拡大を背景に非耐久財全体でも増加に転じた。

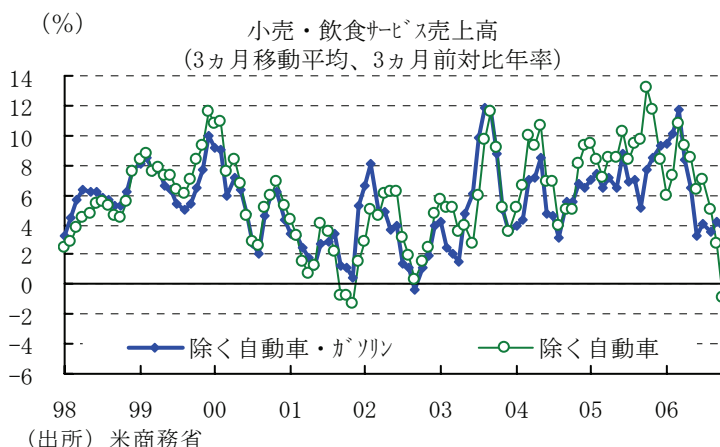
変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高も、上記と同様の要因によって前月比+1.1% (前月同▲0.3%) とプラスに転じ、市場予想の同+0.3%を大幅に上回った (8、9、10月合計で0.4%ポイント上方改定)。

全体からガソリンを除いた小売・飲食サービス売上高は前月比+0.9% (同+0.5%) と一段と加速した。11月の小売売上高は、雇用・所得の拡大、株高、住宅資産を担保とした資金調達の拡大が続くなか、ブラックフライデーの積極的な値下げ販売を背景に増加した。特に、大幅な値下げ販売が行われた家電と便利な通信販売が高い伸びとなった。

小売売上高は堅調さを維持

小売売上高の基調を3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で見ると、変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は▲2.2% (前月▲0.9%) とマイナスとなったもの

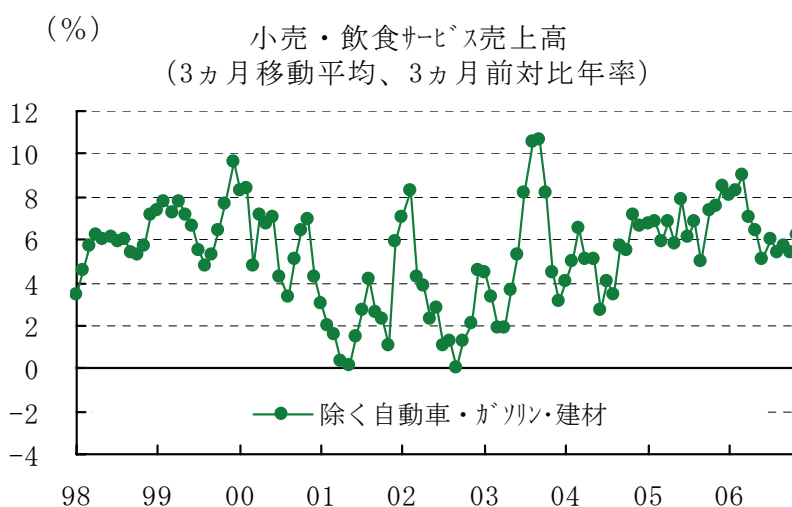
の9、10月に価格の下落によってガソリン販売が減少した影響を受けている。このような影響を除くために自動車・ガソリン販売を除く小売・飲食サービス売上高をみると、11月に+5.0%（同+4.0%）と高い伸び維持しており、消費は堅調さを維持していると判断される。



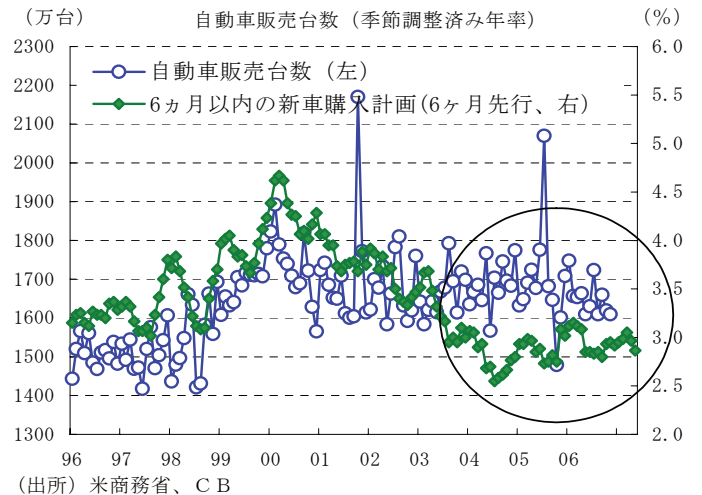
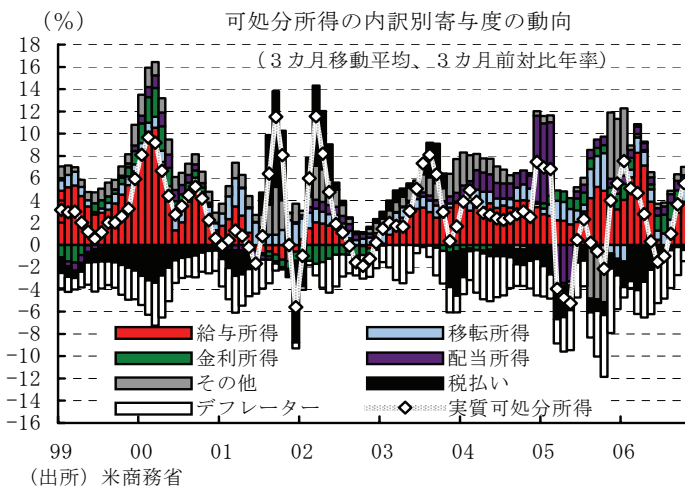
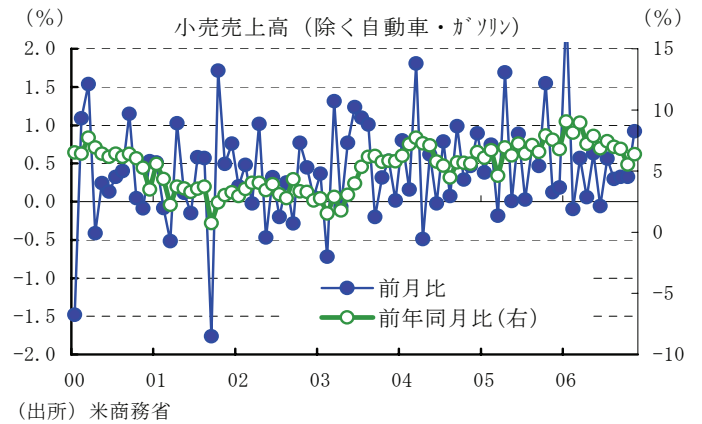
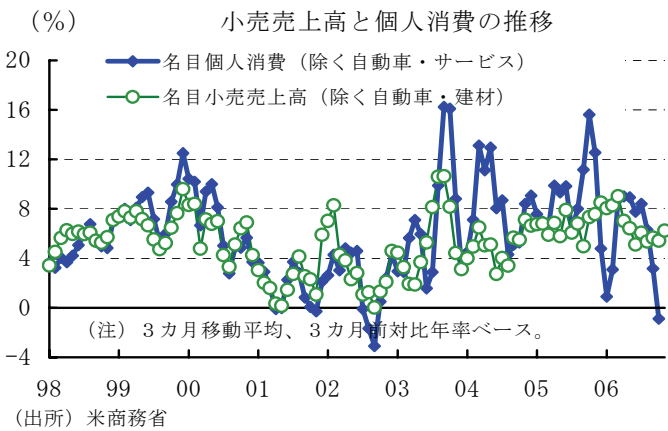
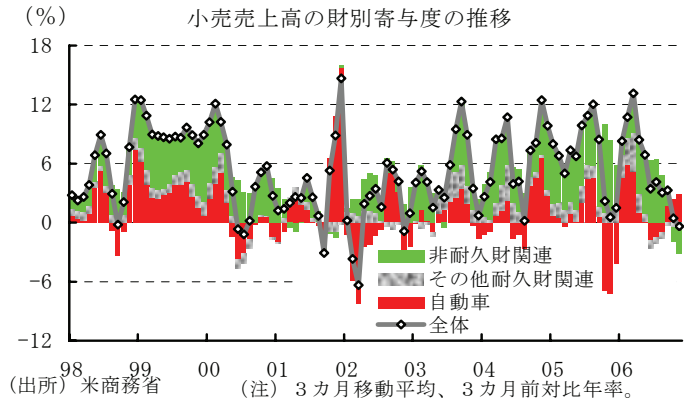
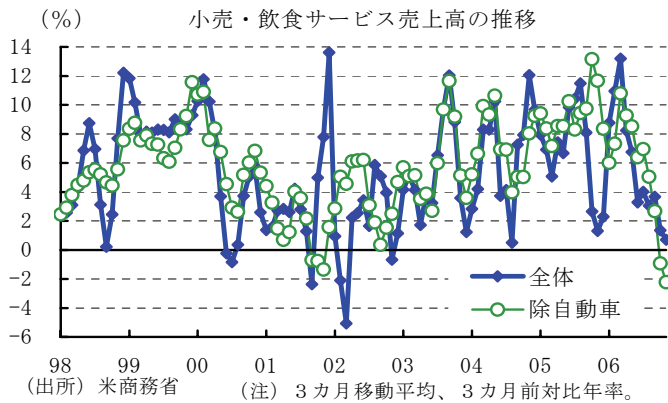
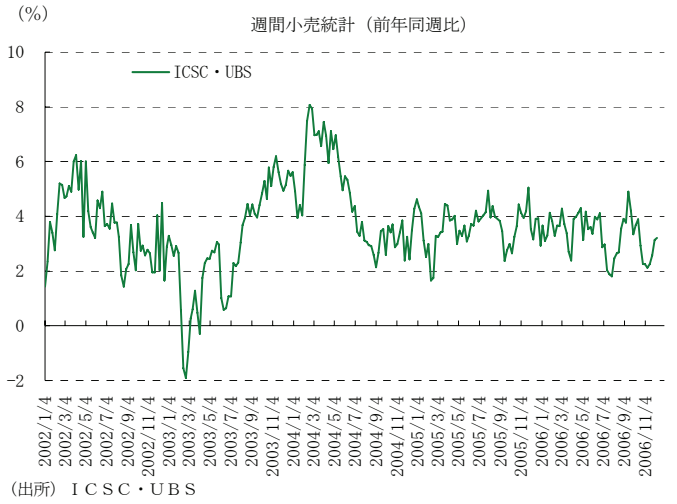
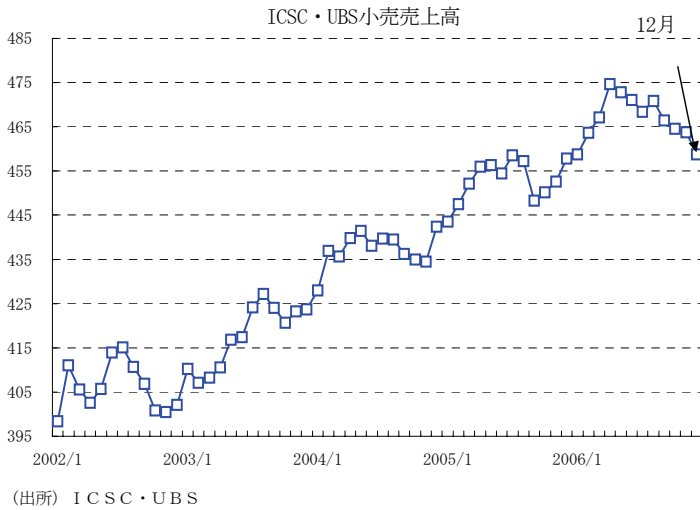
小売・飲食サービス売上高（除く自動車・ガソリン・建材）は、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では+6.2%（前月+5.4%）と加速

GDPベースの個人消費算出に使われる小売・飲食サービス売上高（除く自動車・ガソリン・建材）は、11月に前月比+0.8%（前月同+0.3%）と加速し、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では+6.2%（前月+5.4%）と加速し高い伸びとなった。10、11月平均では7～9月期対比年率+5.1%と7～9月期の前期比年率+5.5%から小幅鈍化にとどまっている。さらに、12月の第1週のチェーンストア小売売上高は前月比+1.0%、前年比+3.2%と堅調さを維持している。これらのことを勘案すると、10～12月期の実質個人消費は前期比年率+2%台後半の伸びが予想される。

なお、7～9月期分が速報の前期比年率+5.5%から同+5.7%に上方改定されており、7～9月期の実質個人消費は改定値の前期比年率+2.9%から同+3.0%に上方修正されると見込まれる。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であると限りません。